PREDATOR

ユーザーズガイド

Acer Predator G シリーズユーザーズガイド
初版 : 2012 年 3 月

Acer Predator G シリーズデスクトップコンピュータ

モデル番号 : ___________________________________

シリアル番号 : _________________________________

購入日 : _______________________________________

購入場所 : _____________________________________

安全・快適にご使用いただくために

安全に関する注意事項

この操作説明書をよくお読みください。本書を保管して、必要に応じてご参照ください。製品にマークされているすべての警告と指示に従ってください。

洗浄する前に製品の電源をオフにしてください

洗浄する前に、コンセントから本製品のプラグを抜いてください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーを使用しないでください。洗浄には、湿った布を使用してください。

警告

- 本製品を水気のあるところで使用しないでください。
- 本製品を不安定なカート、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。落下により、製品に深刻な損傷を与えることがあります。
- 製品の安定した動作および過熱からの保護に必要な換気のためにスロットや開口部は設けられています。これらの開口部を塞いだり、カバーを掛けたりしないでください。製品をベッド、ソファ、ラグなどに置いて、開口部を絶対に塞がないでください。本製品をラジエータやヒートレジスタの傍または上に置いたり、適切な換気が提供されないはめ込み式家具などに取り付けたりしないでください。
- いかなる種類の物体もキャビネットのスロットを通して本製品内部に押し込まないでください。危険な電圧ポイントやショートする部品に触れて、火災や感電の原因となります。製品の上または内部には、いかなる種類の液体もこぼさないでください。
- 内部コンポーネントが損傷したりバッテリの液漏れの原因となるため、製品を振動する場所に設置しないでください。

使用電力

- 本製品の作動にはマーキングラベルに示されたタイプの電源を使用してください。使用可能な電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上には物を置かないでください。コードが踏まれるような場所に本製品を設置しないでください。
- 本製品に延長コードを使用する場合、延長コードに差し込まれた装置の合計アンペア定格が延長コードのアンペア定格を超えないようにしてください。また、コンセントに差し込まれたすべての製品の合計定格がフューズ定格を超えないようにしてください。

- 過負荷を避けるために、コンセント、テーブルタップまたはレセプタクルには多くのデバイスを差し込まないでください。システム全体の負荷は、分岐回路定格の 80% 以内に抑えてください。テーブルタップを使用する場合、負荷はテーブルタップの入力定格の 80% を超えないようにする必要があります。
- 本製品の AC アダプタには､3 叉のアース用プラグが付属しています。プラグはアースされたコンセントにだけ適合します。AC アダプタのプラグを差し込む前に、コンセントが正しくアースされていることを確認してください。プラグをアースされていないコンセントに差し込まないでください。詳細については、お近くの電気店までお問い合わせください。



警告 : アース用ピンは安全のために用意されています。正しくアースされていないコンセントを使用すると、感電や負傷の原因となります。



注 : アース用ピンは、近くにある他の電気デバイスから発生する予期せぬノイズから保護するために提供されています。これらのノイズは本製品の動作の妨げになることがあります。

- 本製品には必ず付属の電源コードセットを使用してください。電源コードセットを交換する必要がある場合、新しい電源コードが次の要件を満たしていることを確認してください : 取り外し可能タイプ、UL 指定 /CSA 認定、VDE 認可または同等、最大長 4.5 m。

製品の修理

本製品をお客様ご自身で修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧ポイントまたはその他の危険にさらされることがあります。すべての修理は正規のサービススタッフに依頼してください。

以下の場合、コンセントから本製品のプラグを抜き、正規サービススタッフに修理を依頼してください。

- 電源コードまたはプラグが損傷、切断または擦り切れた
- 製品に液体が入った
- 製品が雨または水にさらされた
- 製品が落下した、またはケースが損傷した
- 修理を必要とするほどの著しい変化が製品パフォーマンスに見られる
- 操作指示に従っても製品が正常に動作しない



注 : 操作指示に含まれる範囲のみのコントロール調整を行ってください。他のコントロールを不適切に調整すると損傷するおそれがあります。また、製品を正常の状態に復元するのに技術者の莫大な労力が必要となります。

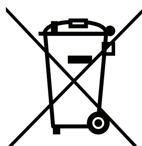
注意 : バッテリを正しく交換しないと爆発の危険があります。同じタイプ、またはメーカーが推奨する同等タイプのものとのみ交換してください。使用済みバッテリはメーカーの指示に従って廃棄してください。

電話線の取扱い

- 装置を使用していないときや修理前には、装置から電話線を取り外してください。
- 落雷による感電を避けるために、雷が鳴っているときや雷雨の間は本装置に電話線を接続しないでください。

廃棄方法

この電子デバイスを廃棄する際には、ゴミとして処分しないでください。
汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、リサイクルにご協力ください。電気電子機器廃棄物リサイクル指令 (WEEE) 規制の詳細については、**www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability01.htm**、**www.acer-group.com/public/Sustainability/sustainability04.htm** にアクセスしてください。





水銀に関する勧告

LCD/CRT モニタまたはディスプレイを含むプロジェクタまたは電子製品の場合 : 製品内のランプには水銀が含まれており、国または地方自治体の法に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。詳細については、米エレクトロニクス産業協議会 (**www.eiae.org**) にお問い合わせください。ランプ固有の廃棄情報については、**www.lamprecycle.org**. で確認してください。



快適に使用するためのヒントと情報

コンピュータの長時間使用後、ユーザーは目の疲れや頭痛を訴えることがあります。また、長時間におよぶコンピュータでの作業は身体的な損傷の危険性を伴ないます。長い作業時間、悪い姿勢、劣悪な作業習慣、ストレス、不適切な作業条件、個人的な健康状態およびその他の要因により身体的損傷の危険性は大幅に増加します。

間違ったコンピュータの使用は、手根管症候群、腱炎またはその他の筋骨格症病の原因となることがあります。次の症状が手、手首、腕、肩、首または背中に現れることがあります。

- しびれ、または焼けるようなまたはチクチクする感じ
- 鈍痛、ひりひりする痛みまたは圧痛
- 疼痛、腫れまたはずきずきする痛み
- 筋肉の凝りまたは緊張
- 寒気または脱力感

これらの症状が現れたり、コンピュータの使用に関連するその他の再発性または持続性の不快感または疼痛を感じた場合、直ちに医師の診察を受け、会社の健康安全部門に知らせてください。

次項では、より快適にコンピュータを使用するためのヒントを説明します。

快適な設定位置を見つける

モニタの表示角度を調整する、フットレストを使用する、または座高を上げるなどして、最も快適な設定位置を見つけます。次のヒントを参考にしてください。

- 1 つの固定した姿勢を長く保たないようにする
- 前屈みになったり後ろにもたれかかったりしない
- 脚の筋肉の張りを取るために、定期的に立ち上がって歩き回る
- 短い休憩を取り首と肩の力を抜く
- 筋肉を緊張させたり肩をすくめたりしない
- 外部ディスプレイ、キーボード、マウスは正しく、また無理をせずに手の届く範囲内に取り付ける
- 文書よりモニタを見る時間が長い場合、首の疲れを最小限に抑えるためデスクの中央にディスプレイを設置する

目のお手入れ

長時間の凝視、適切でないメガネやコンタクトレンズの着用、ギラギラした光、過剰な部屋の照明、焦点の合っていない画面、きわめて小さな活字、低コントラストディスプレイは目にストレスを与えます。以下の各項では、目の疲れを和らげる方法を説明します。

目

- 目を頻繁に休ませる。
- モニタから目を離し遠くの一点に焦点を合わせることにより、定期的に目を休ませる。
- 頻繁に瞬きし目が乾かないようにする。

ディスプレイ

- ディスプレイは常に清潔に保つ。
- ディスプレイの中央を見ているとき目が下を向くように、頭をディスプレイの上端よりわずかに高くなるようにする。
- テキストが読みやすくグラフィックスがくっきり見えるように、ディスプレイの明るさとコントラストを快適なレベルに調整する。
- 以下の方法でぎらつきと反射を抑止する。
    - ディスプレイの側面が窓や光源を向くように、ディスプレイを設置する
    - カーテン、日よけまたはブラインドを使用して、部屋の明かりを最小限に抑える
    - タスクライトを使用する
    - ディスプレイの表示角を変更する
    - ぎらつき防止フィルタを使用する
    - ディスプレイの上端から端まで広がるボール紙など、ディスプレイバイザーを使用する
- ディスプレイを見にくい角度に調整しないようにする。
- 開いた窓などの明るい光源を長時間見ないようにする。

適切な作業習慣を付ける

次の作業習慣を身につけ、コンピュータの使用をより快適に、生産的なものにします。

- 短い休憩を定期的に、こまめに取る。
- 手足の屈伸運動を時折する。
- できるだけ頻繁に新鮮な空気を吸う。
- 定期的に運動をして、健康な体を保つ。



警告：コンピュータをソファやベッドで使用することはお勧めしません。やむを得なく使用する際には、作業は短い時間にとどめ、定期的に休憩を取り、手足の屈伸運動を時折行ってください。



注 : 詳細については、**34 ページの FCC 通知**を参照してください。

目次

1　重要なこと
から順番に

梱包内容

コンピュータを開封する前に、コンピュータのセットアップに十分なスペースが確保されていることを確認してください。

段ボールを慎重に開封し、中身を取り出します。次の付属品が欠品または破損しているときは、直ちに販売店にご連絡ください。

- Acer Predator G シリーズ
- アクセサリボックスに含まれる付属品
  - キーボード
  - マウス
  - スピーカー (オプション)
- セットアップポスター
- その他のユーザーマニュアル等 (オプション)

ユーザーズガイドにアクセスする

このユーザーズガイドは、Adobe Acrobat を使ってコンピュータでお読みになることもできます。

ユーザーズガイドにアクセスするには

1 Windows のタスクバーで、**スタート [Start]** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム [All Programs]** を選択します。

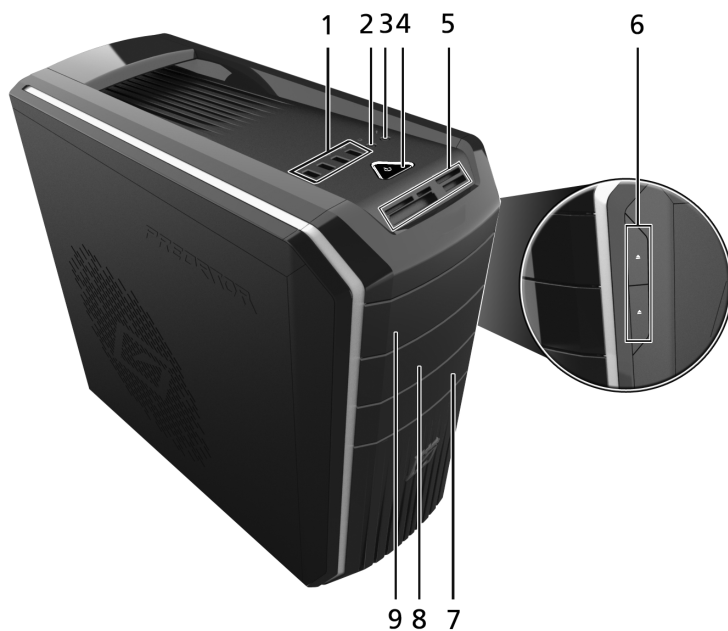
2 **AcerSystem** をクリックします。

2　システムツアー

日本語

外部の構造

前面パネル



番号	アイコン	コンポーネント
1		USB ポート / USB 3.0 ポート
2		ヘッドフォン / ラインアウトジャック
3		マイク / ラインインジャック
4		電源ボタン
5		メディアカードスロット
6		光ディスクドライブの取り出しボタン
7		イージースワップハードディスクドライブベイ
8		光学ディスクドライブベイ
9		光学ディスクドライブベイ

USB 3.0 の情報

- USB 3.0 およびそれ以前のデバイスと互換性があります。
- 最適な性能を引き出すには、USB 3.0 対応デバイスをお使いください。
- USB 3.0 (SuperSpeed USB) 規格で定義されています。

日本語

メモリカードリーダーを使用する

コンピュータはマルチメディアカードスロットをサポートしています。



これらのスロットは、メモリカードとコンピュータ間でデータをやり取りする上で役に立ちます。

メモリカードはデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、携帯ゲーム機、携帯電話など、さまざまなデジタルデバイスで使用されています。

メモリカードを挿入するには :

1 カードがコンピュータの方を向くように、カードラベルの側を上にして持ちます。
2 カードが装着されるまでスロットにスライドさせます。

メモリカードを取り外すには :

1 カードを取り出す前に、以下を実行します。
   - カードを使用しているアプリケーションを終了します。
   - Windows の タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] を左クリックして、カード操作を停止します。
2 カードをスロットにゆっくり押し込むと、飛び出してきます。
3. スロットからカードを引き出します。

日本語

背面パネル

アイコン	コンポーネント
	PS/2 マウスポート
	ネットワークポート
	ヘッドフォン / ラインアウト / スピーカージャック
	オーディオイン / ラインインジャック
	外部インターフェイス (ディスプレイ用、オプション)
	マイク / ラインインジャック
	USB ポート / USB 3.0 ポート
	PS/2 キーボードポート
	システムファン
	電源装置
	電源コネクタ

環境

- 温度 :
  - 操作時 : 5°C ～ 35°C
  - 非操作時 : -20°C ～ 65°C
- 湿度 (結露しないこと) :
  - 操作時 : 20% ～ 80%
  - 非操作時 : 20% ～ 80%

日本語

3　コンピュータをセットアップする

日本語

快適な作業環境を整える

安全で快適な作業は、作業スペースの手配と装置の適切な使用から始まります。このため、作業環境をどう整えるかについて、時間をかけよく考えるのはとても重要です。システムをセットアップするときは、以降のページの図を参照してください。

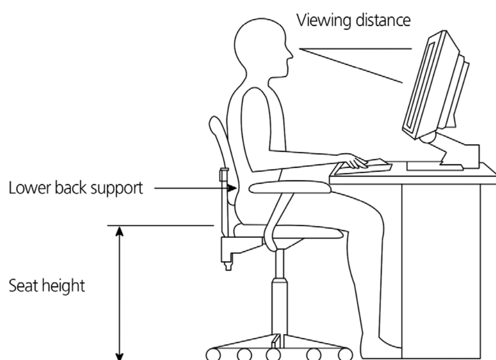
以下に、考慮すべき点を挙げます。

椅子を調整する

正しい種類の椅子を使っているからといって、必ずしも適切にサポートされているわけではありません。椅子を体に合わせて調整する必要があります。正しい姿勢を保つことで、より快適にかつ効率よく作業することができます。

- 椅子を傾けないようにしてください。傾斜する椅子を使用している場合、コンピュータを操作している間椅子が前方または後方に傾かないように、チルトノブをロックしてください。
- 椅子に腰掛けたときに太腿が床と平行になり両足が床に平らに着くように、椅子の高さを調整してください。
- 体を椅子の背に預けるように座ってください。体を椅子の背に預けるようにして腰掛けないと、バランスを保つために胴体に負担がかかります。

PC の位置を定める



コンピュータの設置場所を選択する際には、次の点に注意してください。

- コンピュータは、無線送信機、テレビ、コピー機、暖房設備またはエアコンなど、電磁気や電波障害を引き起こす機器の側に置かないでください。
- 埃っぽい場所や、極端な温度や湿度になる場所を避けてください。
- 作業や移動の支障にならない限り、コンピュータをデスクの脇やテーブルの下に置いてもかまいません。

モニタの位置を定める

モニタは、見やすい位置になるように、通常目から 50 ～ 60 cm 離して設置してください。ディスプレイは、画面の上部が目の高さよりわずかに下になるように調整します。

キーボードの位置を定める

キーボードの位置は、姿勢を左右するきわめて重要な要因です。
体から離れすぎた位置に置くと体が前屈みになり、不自然な姿勢で腰掛けるようになります。設置位置が高過ぎると、肩の筋肉の緊張の原因になります。

- キーボードは、膝のすぐ上にくるように設置する必要があります。キーボードの下にある折りたたみ式スタンドを立てて、キーボードの高さを調整します。
- タイプするとき、前腕は常に床に平行になるようにします。上腕と肩の力を抜き、キーボードを軽くたたいてタイピングします。肩や首に張りを感じたら、しばらく作業を中止して姿勢をチェックしてください。
- キーボードはモニタの正面に来るように置きます。キーボードをモニタの横に置くとタイプしている間首を回さなくてはならなくなり、首の筋肉が必要以上に緊張することになります。

マウスの位置を定める

- マウスは、容易に手が届くようにキーボードと同じ面におく必要があります。
- 体を伸ばしたりかがみ込んだりせずにマウスを動かせる十分なスペースを確保できる位置に設置してください。
- マウスを動かすときは腕を使います。マウスを動かしているとき、テーブルに手首を載せないでください。

日本語

コンピュータをセットアップする

コンピュータのセットアップは簡単に行うことができます。ほとんどの場合、5 つの周辺機器 (マウス、キーボード、スピーカー、モニタ、電源ケーブル) を接続するだけです。



注 : 以下の接続に用いられている周辺機器は、参照目的として示されています。システムの構成によりセットアップの方法は異なります。

マウスとキーボードの接続

PS/2 インターフェイス

PS/2 マウスとキーボードケーブルを、コンピュータ背面パネルにある PS/2 キーボードポート (紫) とマウスポート (緑) に差し込みます。

USB インターフェイス

USB マウスまたはキーボードのケーブルを、コンピュータの前面または背面にある USB ポートのどれかに差し込みます。

モニタの接続 (オプション)

モニタを接続するには、モニタケーブルをコンピュータの背面パネルにあるモニター用のポートに差し込みます。



注 : モニタとの接続端子、ケーブルは本体構成により異なります。

ネットワークに接続

個別のネットワーク設定

ネットワークケーブルの一方の端をコンピュータ背面のネットワークポートに接続し、ネットワークケーブルのもう一方の端をケーブルモデムまたはネットワークジャックまたはネットワークのハブに接続します。



注：ネットワークセットアップの設定方法詳細については、ネットワークのシステム管理者にお問い合わせになるか、またはオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

電源に接続



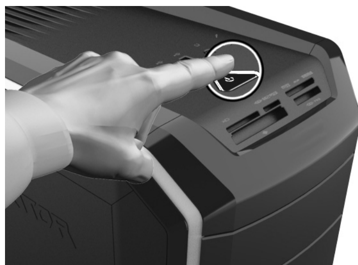
注意：作業を進める前に、居住地域の電圧範囲をチェックしてください。電圧範囲がコンピュータの電圧設定に一致していることを確認します。一致していない場合、地域の電圧範囲に従ってコンピュータの電圧設定を変更してください。

1. 電源ケーブルを、コンピュータ背面にある電源ケーブルソケットに差し込みます。
2. 電源ケーブルのもう一方の端をコンセントに差し込みます。

日本語

コンピュータの電源をオンにする

システム、適用電源、接続した周辺機器のすべてを適切にセットアップしたことを確認した後、システムの電源をオンにします。





重要 : 電源ケーブルがコンセントに正しく差し込まれていることを確認します。テーブルタップまたは AVR (自動電圧調整器) を使用している場合、そのプラグが差し込まれ電源がオンになっていることを確認します。

コンピュータの電源をオフにする

以下の手順は、Windows OS を搭載するシステムに適用されます。他の OS の終了手順については、関連するユーザーマニュアルを参照してください。

1 Windows のタスクバーで、**スタート [Start]** ボタンをクリックし、**シャットダウン [Shut Down]** をクリックします。

2 コンピュータに接続されているすべての周辺機器の電源をオフにします。

コンピュータを正常に停止できない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続けます。ボタンを押してすぐに離すと、コンピュータはサスペンドモードに入ります。

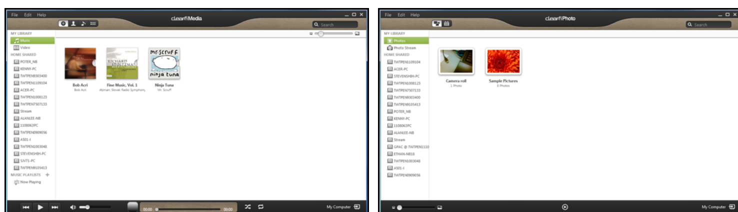
Acer clear.fi (特定モデルのみ)

Acer clear.fi は、デジタルメディアビューアーおよび、ビデオ、ミュージック、フォト等のコンテンツを共有できるツールです。ホームネットワーク上にあるデバイスのメディアコンテンツも閲覧できます。



注意：同一のホームネットワーク内のデバイス間でメディアコンテンツを共有・閲覧が行えます。

ビデオ、音楽を鑑賞するには **clear.fi Media** を開きます。フォトを閲覧するには **clear.fi Photo** を開きます。





重要：Windows ファイアーウォールが clear.fi のネットワークアクセスの許可を確認する場合があります。その場合、ファイアーウォールの設定画面上で **[アクセスを許可する]** を選択します。

メディアとフォトのナビゲーション

画面左のパネルリストにマイコンピュータ内のメディア (「マイライブラリ」) が表示されます。ホームネットワーク上に他のデバイスがあればそれらのメディアが表示されます (「共有ホーム」)。

コンピュータでファイルを表示するには、「マイライブラリ」でカテゴリーの 1 つを選択し、右側でファイルとフォルダを参照します。

共有ファイルの再生

ホームネットワーク上のデバイスは、**「共有ホーム」**セクションに表示されます。デバイスを選択した後、視聴したいメディアのカテゴリーを選択します。

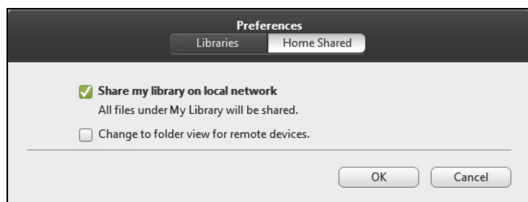
しばらくすると共有メディアのファイルとフォルダが画面の右側に表示されます。再生したいファイルを探してダブルクリックすると、メディアの再生が開始されます。

画面の下に表示されているメディア コントロールバーを使用すると、再生をコントロールできます。例えば、ミュージックを選択した場合は再生、一時停止、停止、音量調整などを実行できます。





注意：ファイルの共有を行う前に共有したいファイルの共有設定を行う必要があります。ファイルが保存されているデバイスで clear.fi を起動し、**[編集]** メニューから、**[マイ ライブラリをローカル ネットワークで共有]** を選択してください。



ファイルの共有の互換性

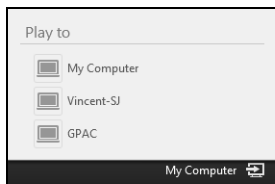
clear.fi 搭載の Acer 製品または DLNA 対応の製品と互換性があり、メディアの共有をホームネットワーク上で行えます (一部、製品には対応しておりません)。これらには DMS 対応パソコン、スマートフォン、NAS (Network Attached Storage) デバイスが含まれます。

他のデバイスで再生する

他のデバイスでメディアを再生するには、次の手順に従ってください。

1 画面の右下隅のアイコンで **[再生先]** を選択します。

2 ファイルを再生するネットワーク上のデバイスを選択します。



3 画面上で再生するファイルを選択し、画面の下にあるメディア コントロールバーを使って他のデバイスをコントロールします。

４　コンピュータを使用する

光学ドライブを使用する

コンピュータには、DVD SuperMulti ドライブが付属しています。CD ディスク、ビデオ CD、DVD-RAM/-RW、DVD-ROM、DVD+R/-R を再生することができます。(製品によって、オプションで Blu-ray ドライブが搭載されている場合もあります。その場合、BD ディスクも再生できます。)

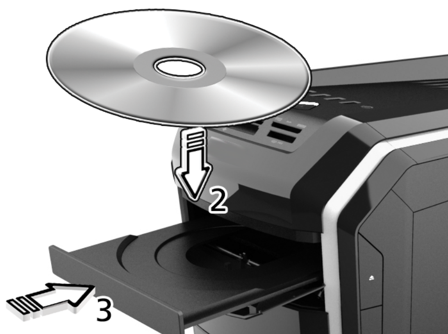
CD、DVD、BD はコンパクトで軽量であり、持ち運びに優れています。ただし、これらのディスクは非常に傷つきやすいため、取扱いには細心の注意を払う必要があります。

コンピュータの光ドライブにディスクを挿入する際には、以下の手順に従ってください。

1. 前面パネルにある光ドライブの取り出しボタンを押します。



2. ディスクトレイが開いたら、トレイにディスクをそっと置きます。ディスクのラベルやタイトル面が上を向いていることを確認します。
   ディスクを持つときは、汚れや指紋が付かないように端を持ってください。



3. トレイを押すか、取り出し / ロードボタンを押すと自動的に閉じます。

光ディスクのお手入れ

- 傷やその他の損傷を防ぐために、ディスクを使用していないときはケースに保管してください。ディスクに埃が付いていたり損傷しているとデータに影響を与えたり、光ドライブのディスクレンズリーダーを損傷したり、コンピュータがディスクを正常に読み取れないことがあります。
- ディスクを取り扱うときは、汚れや指紋を防ぐために必ず端を持ってください。
- ディスクを掃除するときは、清潔で埃の付いていない布を使用し、中心部から縁に向かってまっすぐに拭いてください。円運動で拭かないでください。
- クリーニングキットを使用し光ドライブを定期的に洗浄してください。クリーニングキットはコンピュータショップまたは電気店でお買い求めいただけます。

オプションを接続する

コンピュータは内蔵のポートとコネクタを使用した優れた拡張機能を提供します。このセクションでは、さまざまなオプションを利用するための接続方法を説明します。周辺機器を接続する際には、付属のマニュアルを読み操作方法を確認してください。

オーディオデバイス

オーディオデバイスは、オーディオポートにコンピュータの前面または背面から容易に接続できます。

- マイク ― 外部マイク (またはオーディオラインインデバイス) をコンピュータ前面または背面にあるマイク / ラインインジャック (ピンク) に差し込みます。
- アンプ内蔵型ステレオスピーカー、ヘッドセット、ヘッドフォン ― アンプ内蔵型スピーカー、ヘッドセット、ヘッドフォンをコンピュータ前面または背面にあるヘッドフォン / ラインアウト / 前面スピーカージャック (緑) に差し込みます。

日本語

USB デバイス

ユニバーサルシリアルバス (USB) にはデジタルカメラ、キーボード、マウス、スキャナー、プリンタ、モデム、フラッシュドライブ、VoIP フォン、ゲームデバイス (ジョイステック、ステアリングホイール、ランブルパッド、フットペダル) などの周辺機器を簡単に接続できます。USB を使用することにより、わずらわしいケーブル接続を排除できます。

コンピュータには、マルチメディアカードスロットに 1 つ、前面、背面パネルに多くの USB ポートが装備されています。これらのポートは、ウェブカメラやデジタルカメラなどの、USB 2.0 ハイパフォーマンス外部デバイスに対応しています。また、コンピュータのリソースを使わずに、追加の USB デバイスをコンピュータに接続することもできます。

USB デバイスを接続するには、デバイスケーブルを、コンピュータの前面または背面にある USB ポートのいずれかに差し込みます。



注 : 一部の USB デバイスには、より多くの USB デバイスを接続するための、USB ポートが組み込まれているものもあります。

５ コンピュータをアップグレードする

日本語

インストール時の注意事項

コンピュータのコンポーネントをインストールする前に、以下のセクションをお読みください。これらのセクションにはプレインストールとポストインストールの指示に関する重要な ESD の注意事項が含まれています。

ESD 注意事項

静電放電 (ESD) はプロセッサ、ディスクドライブ、拡張ボード、その他のコンポーネントの損傷の原因となります。コンピュータのコンポーネントを取り付ける際には、常に以下の注意事項に従ってください。

1 取り付けの準備ができるまで、保護パッケージからコンポーネントを取り出さないでください。

2 コンポーネントを処理する前に、アースされたストラップを手首に着け、コンピュータの金属部分に触れてください。リストストラップの準備がない場合は、ESD 保護を必要とする手順の間、絶えずコンピュータに触れてください。

取り付け前の指示

コンポーネントを取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1 コンピュータを開ける前にコンピュータとそれに接続されているすべての周辺機器の電源をオフにします。コンセントからすべてのケーブルを抜きます。

2 23 ページの指示に従って、コンピュータを開けます。

3 コンピュータのコンポーネントを扱う前に、上で説明した ESD の注意事項に従ってください。

4 DIMM ソケットまたはコンポーネントのコネクタへのアクセスを遮断する拡張ボードまたは周辺機器を取り外します。

5 取り付けるコンポーネントに固有の指示については、以下のセクションを参照してください。



警告：コンポーネントの取り付けを開始する前にコンピュータの電源を正しくオフにしないと、コンポーネントの損傷の原因となります。専門技術者でない場合、以下のセクションで説明する手順は実行しないでください。

取り付け後の指示

コンピュータのコンポーネントを取り付けた後、以下の指示に従ってください。

1 コンポーネントがそれぞれのセクションの手順指示に従って取り付けられていることを確認します。
2 前の手順で取り外した拡張ボートや周辺機器を元に戻します。
3 サイドパネルを元に戻します。
4 ベゼルドアを元に戻します。
5 必要なケーブルを接続します。
6 コンピュータの電源をオンにします。

コンピュータを開く



注意 : 作業を進める前に、コンピュータと接続されているすべての周辺機器の電源がオフになっていることを確認してください。22 ページの「取り付け前の指示」をお読みください。

アップグレードコンポーネントを取り付ける前に、コンピュータを開ける必要があります。コンピュータの内部コンポーネントに手が届くように、サイドパネルは取り外し可能になっています。指示については、以下のセクションを参照してください。

日本語

ハードディスク ドライブの取り外しと取り付け

コンピュータは、1 台のイージースワップハードディスクドライブに対応しています。ハードディスクは標準の 3.5 インチシリアル ATA ハードドライブ用収納ケースに搭載され、ディスクケージバックプレーン上の SATA インターフェイスに接続します。



注 : 構成によっては、キャリアにはすでにハードディスク ドライブが装着されている場合があります。

イージースワップテクノロジにより、ハードディスクの交換やアップグレードを行う際のシステムのダウンタイムが短縮されます。



警告 : システムの電源をオンしたままハードドライブの取り付けと取り外しを行うと故障、データの破損の恐れがあります。

ハードディスク ドライブ キャリアの取り外し



注意 : これらの手順は、イージースワップハードディスクドライブベイが搭載されているコンピュータでのみ行うことができます。

1 22 ページで説明した ESD の注意事項を守ってください。

2 ドライブベイのドアを開けます。



3　HDD ケースのラッチを押し、レバーを引いてケースをシャーシからスライドさせます。



4　HDD ケースを清潔な場所に置きます。

ハードディスク ドライブの追加

1　ハードディスク ドライブ キャリアの取り外しの手順 (上記) に従います。

2　ハードディスクの取り付け用穴にピンを合わせながら、新しいドライブの右側をキャリアに挿入します。



3　キャリアの正面にあるタブをゆっくりと開き、正面の取り付け用穴にピンを挿入します。キャリア カバーの後ろ部分を曲げて、背面の取り付け用穴にピンを挿入します。







日本語

4 レバーを伸ばしたまま、キャリアをドライブ ベイ内に完全にスライドさせ、カバーを閉じます。



システムメモリをアップグレードする

このセクションでは、メモリモジュールの取り外しと取り付け手順について説明します。

システムメモリのインターフェイス

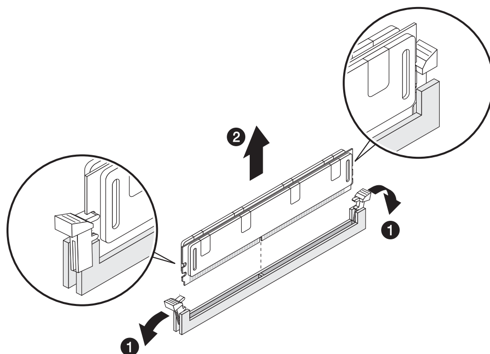
マザーボードの 4 つのソケットは DDR3 SDRAM タイプの DIMM をサポートしています。最大 16 GB のメモリ容量に対して、1 GB から 4 GB DIMM を取り付けることができます。

システムメモリの構成ガイドライン

- データ保全性を確保するために、1 GB から 4 GB 容量のモジュールのみを使用してください。
- 同じモジュール (サイズ、速度、構成が同じ仕様) を使用してください。
- 最小の構成の場合、FDB は DIMM 2 スロットに取り付ける必要があります。

メモリモジュールを取り外すには :

1 22 ページに記載の ESD 注意事項を守ってください。
2 システムを横にして置きます (コンポーネントが見えるようにします)
3 DIMM スロット両側の保持クリップを外側に押します (1)。
4 DIMM をゆっくり引き上げて DIMM スロットから取り外します (2)。



5 新しいメモリモジュールを取り付ける場合、は次のセクションに進んでください。23 ページに記載の指示に従ってください。

日本語

メモリモジュールを取り付けるには：



注：メインボードの DIMM スロットは、特定の構成でのみ取り付ける必要があります。DIMM スロットの隣りの数字は取り付け順序に対応しています。DIMM はペアで、正しい順序で取り付けてください。

1 前のセクションの 1 ～ 2 のステップを実行します。

2 空の DIMM スロットを選択します。

3 DIMM スロットの保持クリップを開きます。

既存の DIMM を取り替える場合、DIMM を取り外したスロットに新しい DIMM を取り付けてください。

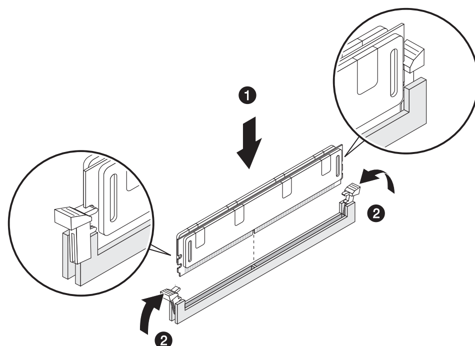
新しい DIMM を追加する場合、システムがデュアルチャンネル構成をサポートしていることを確認してください。チャンネル A スロットに取り付ける DIMM の合計サイズは、チャンネル B スロットの合計サイズに一致する必要があります。

4 保護パッケージから、新しい DIMM の端を持ちながら取り出します。

5 スロットの切り込みがモジュールの溝の付いた端に合うように DIMM を揃え、モジュールの両側を押してスロットに完全に差し込みます (1)。

DIMM を挿入するときにスロットにスムーズに適合しない場合、挿入方向が間違っています。モジュールの方向を逆にして、再び挿入してください。

6 保持クリップを内側にしっかり押して DIMM を所定の位置にロックします (2)。



保持クリップが閉まらない場合、DIMM が正しく挿入されていません。

7 23 ページの「取り付け後の指示」に記載の指示に従ってください。

システムは、取り付けたメモリ容量を自動的に検出します。BIOS セットアップを実行して、合計のシステムメモリの新しい値を表示しそれをメモします。

６ よくある質問

日本語

よくある質問

次の質問はコンピュータ使用時に発生する可能性がある状況を示しており、それぞれに簡単な回答と解決策が提供されています。

電源ボタンを押したが、システムが起動しませんでした。

電源ボタンの上にある LED をチェックします。

LED 点灯していない場合、システムに電源が供給されていません。以下を試してください。

- 電源ケーブルがコンセントに正しく差し込まれているかどうか、チェックしてください。
- テーブルタップを使用している場合、そのプラグが差し込まれ電源がオンになっていることを確認します。

LED が点灯している場合、次をチェックしてください。

- オペレーティングシステムのファイルが損傷しているか、損失していることが考えられます。Windows のセットアップ時に作成した起動ディスクを ODD に挿入し、**<Ctrl> + <Alt> + <Del>** を同時に押してコンピュータを再起動します。これによりシステムは自動的に診断され、必要な修正を行います。ただし、診断ユーティリティがそれでも問題を報告する場合、回復プロセスを実施してシステムを工場出荷時のデフォルト設定に復元する必要があります。

画面に何も表示されません。

モニターを自動的にスタンバイにします。どれかのキーを押すと、ディスプレイは元に戻ります。

キーを押しても変化がない場合、コンピュータを再起動してください。コンピュータを再起動しても問題が解決されない場合、販売店または技術サポートセンターにご相談ください。

プリンタが作動しません。

次を実行してください。

- プリンタがコンセントに差し込まれ、電源がオンになっていることを確認します。
- プリンターをコンピュータにしっかりと接続されていることを確認してください。
- プリンタの接続に関する詳細は、プリンタのマニュアルを参照してください。

コンピュータから音声が出ません。

次をチェックしてください。

- 音量が消音になっている可能性があります。タスクバーの音量 [Volume] アイコンを確認してください。アイコンに禁止マークが付いている場合、アイコンをクリックし**消音 [Mute]** オプションを選択解除します。USB キーボードの音量制御 / 消音ノブを押して、消音からサウンドオンに切り替えることもできます。
- ヘッドフォン、イヤホンまたは外部スピーカーがコンピュータのラインアウトジャックに接続されている場合、内部または内蔵スピーカーの電源は自動的にオフになります。

システムが各種メディア、メモリーカードの情報を読み取れません。

次をチェックしてください。

- 正しいタイプの各種メディア、メモリーカードを使用していることを確認してください。
- ディスクがドライブに正しく挿入されていることを確認します。
- ディスクに汚れがなく、傷が付いていないかどうかチェックします。
- 良好な (損傷していない) ディスクを使用して、ドライブをチェックします。ドライブが良好なディスクの情報を読み取れない場合、ドライブに問題のある可能性があります。販売店または技術サポートセンターにご相談ください。

システムがハードディスク、または書き込み可能 / 書き換え可能メディアにデータを書き込むことができません。

次をチェックしてください。

- 各種メディア、メモリーカードまたはハードディスクが書き込み禁止になっていないことを確認します。
- 正しいタイプの各種メディア、メモリーカードを使用していることを確認してください。

７　規制と安全に関する通知

規制と安全に関する通知

FCC 通知

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ / ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知 : シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置に対する接続はすべて、FCC 規制に準拠するために、シールドされたケーブルを使用して行う必要があります。

通知 : 周辺機器

Class B 制限への準拠を認定された周辺機器 (入出力デバイス、端末、プリンタなど) のみが本機器に接続できます。認定されていない周辺機器で操作すると、ラジオやテレビの受信に障害がおよぶ可能性があります。

注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます : (1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知 : カナダのユーザー

この Class B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

欧州連合諸国に対する適合宣言

Acer はここに、この PC シリーズが指令 1999/5/EC の基本要件およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。(完全なドキュメントについては **http://global.acer.com/support/certificate.htm** にアクセスしてください)。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。



取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　　　　　ＶＣＣＩ －Ｂ

ロシア / ウクライナの規制認証への準拠



ME61



UA.TR.002

モデム通知

米国に対する通知

本装置は FCC 規則パート 68 に準拠しています。モデムには、FCC 登録番号、および Ringer Equivalence Number (REN) を他の情報と共に記載したラベルが貼られています。要請があれば、この情報を電話会社に伝える必要があります。

電話機器が電話機回路網に害を及ぼす場合、電話会社はユーザーに対するサービスを一時的に中断することがあります。可能であれば、電話会社からの事前通知があります。しかし、事前通知が現実できでない場合、できる限り速やかに通知が出されます。また、FCC に対して異議申し立てを提出する権利を有するものとします。

電話会社はその施設、機器、操作、または手順に関してお使いの機器の適切な機能に影響を与える変更を行うことがあります。その場合、途切れのない電話サービスを維持する機会を提供することを前もって通知します。

本装置が正しく作動しなかった場合、電話回線から装置を取り外し、装置が問題の原因になっているかどうかを判断します。問題が装置にある場合、使用を中断し販売店またはベンダーに連絡してください。



注意 : 火災の危険があるため、No. 26 AWG 以上の UL 指定または CSA 公認の電話回線コード以外は使用しないでください。

TBR 21

本装置は公衆交換電話網 (PSTN) への単一の終末連結に対して承認されています [理事会決定 98/482/EC - "TBR 21"]。ただし、提供される個別 PSTN は国によって異なるため、承認はすべての PSTN 終末点での正常な操作を無条件に与えるものではありません。問題が発生した場合、まず装置サプライヤに連絡する必要があります。

オーストラリアの通知

安全上の理由で、通信準拠ラベルの付いたヘッドセットにのみ接続してください。これには、許可または認可のラベルの付いている民生機器が含まれます。

ニュージーランドの通知

1. 端末装置の品目に対する Telepermit の供与は、その品目がネットワークに接続するための最低条件を満たしていることを Telecom が承認したことを示しているだけです。これは、Telecom が製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を提供するものでもありません。特に、ある品目が、異なるタイプまたはモデルの Telepermit 取得済み装置の他の品目とともに、あらゆる局面において正常に動作することを保証するものではなく、また、ある製品に Telecom の全ネットワークサービスとの互換性があることを暗示するものではありません。
2. 本装置は、あらゆる操作条件下で、意図された以上の速度で正しく作動することはできません。このような状況において問題が発生した場合、Telecom は一切の責任を負いません。
3. Telecom の Telepermit 要件に準拠するための要素の中には、本デバイスの関連装置 (PC) に依存するものがあります。関連装置は、Telecom の仕様に準拠するよう、以下の制限内で動作するように設定してください。
   - 手動呼び出しを開始する場合、同じ番号に対して 30 分間に 10 回を超える呼び出しを試みないこと、また
   - 呼び出し試行の終わりから次の試行までの間に、装置を 30 秒以上オンフック状態にすること。
4. Telecom の Telepermit 要件に準拠するための要素の中には、本デバイスの関連装置 (PC) に依存するものがあります。関連装置は、Telecom の仕様に準拠するよう、以下の制限内で動作するように設定してください。複数の番号に対して自動呼び出しを行う場合、呼び出し試行の終わりから次の試行までの間に、装置を 5 秒以上オンライン状態にすること。

5 Telecom の 111 緊急サービスを自動的に呼び出すように本装置を設定しないでください。

6 本デバイスには、Telecom 標準が DTMF トーンダイヤリングを行っている間パルスダイヤリングを行う機器が装備されています。Telecom 回線が今後も、パルスダイヤリングをサポートし続けるという保証はありません。

7 本装置が他の装置と同じ回線に接続されているとき、パルスダイヤリングを使用すると、ベルの音やノイズが大きくなったり、間違った番号につながる原因ともなります。そのような問題が発生した場合、Telecom のフォールトサービスに連絡しないでください。

8 本装置は、同じ回線に接続された別のデバイスへの呼び出しの転送を適切に処理できないことがあります。

9 停電時には、この電話を操作できなくなる可能性があります。地域電力に依存しない非常用電話を使用できるようにしておいてください。

レーザー準拠に関する声明

このコンピュータで使用する CD や DVD は、レーザー製品です。
CD または DVD ドライブの分類ラベル (以下に表示) は、ドライブに貼ってあります。

CLASS 1 レーザー製品
注意 : 開けると不可視レーザーに被爆します。レーザー光線に被爆しないようにしてください。

LCD 画素声明

LCD 装置は高精度の製造技術で生産されています。それにも関わらず、一部の画素が発光しなかったり黒または赤いドットで表示されることがあります。この症状は録画された画像に影響を与えることがなく、誤動作を構成するものではありません。

無線装置の規制通知



注 : 以下の規制情報は、ワイヤレス LAN と Bluetooth の両方またはそのいずれかを搭載したモデル用です。

全般

本製品は、ワイヤレス使用を承認された国または地域の無線周波数および安全基準に準拠しています。設定によっては、本製品には (ワイヤレス LAN と Bluetooth モジュールの両方またはそのいずれかなどの) ワイヤレス無線デバイスが含まれることもあれば含まれないこともあります。以下の情報は、かかるデバイスを搭載した製品用です。

日本語

欧州連合 (UE)

次の整合規格への準拠によって認証された R&TTE 指令 1999/5/EC:

- 条項 3.1(a) 健康と安全
    - EN60950-1:2001
    - EN50371:2002
- 条項 3.1(b) EMC
    - EN301 489-1 V1.4.1:2002
    - EN301 489-17 V1.2.1:2002
    - EN301 489-3 V1.4.1:2002 (27MHz ワイヤレスマウス / キーボード搭載モデルに適用)
    - EN301 489-7 V1.2.1:2002 (3G 機能搭載モデルに適用)
    - EN301 489-24 V1.2.1:2002 (3G 機能搭載モデルに適用)
- 条項 3.2 スペクトルの使用
    - EN300 328 V1.5.1:2004
    - EN301 893 V1.2.3:2003
    - EN300 220-1 V1.3.1:2000 (27MHz ワイヤレスマウス / キーボード搭載モデルに適用)
    - EN300 220-3 V1.1.1:2000 (27MHz ワイヤレスマウス / キーボード搭載モデルに適用)

適用可能な国のリスト

2009 年 7 月現在の欧州連合の加盟国は次の通りです：ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタ、ブルガリアとルーアニア 。欧州連合諸国と同様に、ノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインでも使用が許可されています。このデバイスは、使用する国の規制と制約を遵守してご使用ください。詳細については、使用する国の地方事務所にお問い合わせください。



Acer Incorporated
8F, 88, Sec. 1, Xintai 5th Rd., Xizhi,
New Taipei City 221, Taiwan



Declaration of Conformity

We,

Acer Incorporated
8F, 88, Sec. 1, Xintai 5th Rd., Xizhi, New Taipei City 221, Taiwan
Contact Person: Mr. RU Jan, e-mail: ru_jan@acer.com.tw

And,

Acer Italy s.r.l
Via Lepetit, 40, 20020 Lainate (MI) Italy
Tel: +39-02-939-921, Fax: +39-02 9399-2913, www.acer.it

Hereby declare that:

Product:	**Personal Computer**
Trade Name:	**Acer**
Model Number:	**AcerSystem**
SKU Number:	**XXX-xxx ("x" = 0~9, a ~ z, A ~ Z or Blank)**

Is compliant with the essential requirements and other relevant provisions of the following EC directives, and that all the necessary steps have been taken and are in force to assure that production units of the same product will continue comply with the requirements.

EMC Directive 2004/108/EC as attested by conformity with the following harmonized standards:

-. EN55022, AS/NZS CISPR22, Class B
-. EN55024
-. EN55013 (Applicable to product built with TV tuner module)
-. EN55020 (Applicable to product built with TV tuner module)
-. EN61000-3-2 Class D
-. EN61000-3-3

Low Voltage Directive 2006/95/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

-. EN60950-1
-. EN60065 (Applicable to product built with TV tuner module)

Council Decision 98/482/EC (CTR21):

-. (Applicable to product with pan- European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).)

RoHS Directive 2002/95/EC on the Restriction of the Use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment

-. The maximum concentration values of the restricted substances by weight in homogenous material are:

Lead	0.1%	Polybrominated Biphenyls (PBB's)	0.1%
Mercury	0.1%	Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE's)	0.1%
Hexavalent Chromium	0.1%	Cadmium	0.01%

Directive 2009/125/EC with regard to establishing a framework for the setting of ecodesign requirements for energy-related product.

The standards listed below are applied to the product if built with WLAN module or wireless keyboard and mouse.



R&TTE Directive 1999/5/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

- **Article 3.1(a) Health and Safety**
  - -. EN60950-1
  - -. EN62311
- **Article 3.1(b) EMC**
  - -. EN301 489-1
  - -. EN301 489-3 (Applicable to non-bluetooth wireless keyboard mouse set).
  - -. EN301 489-17
- **Article 3.2 Spectrum Usages**
  - -. EN300 440-2 (Applicable to non-bluetooth wireless keyboard mouse set).
  - -. EN300 328
  - -. EN301 893 (Applicable to 5GHz high performance RLAN).

Year to begin affixing CE marking 2012.

RU Jan/Sr. Manager
Regulation Center, Acer Inc.

Mar. 13, 2012
Date



Acer America Corporation
333 West San Carlos St., San Jose
CA 95110, U. S. A.
Tel : 254-298-4000
Fax : 254-298-4147
www.acer.com



Federal Communications Commission Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The following local Manufacturer /Importer is responsible for this declaration:

Product:	Personal Computer
Trade Name:	Acer
Model Number:	AcerSystem
SKU Number:	XXX-xxx, ("x" = 0~9, a ~ z, A ~ Z or Blank)
Name of Responsible Party:	Acer America Corporation
Address of Responsible Party:	333 West San Carlos St. San Jose, CA 95110 U. S. A.
Contact Person:	Acer Representative
Phone No.:	254-298-4000
Fax No.:	254-298-4147

備考 : すべての画像はあくまでも参考です。
実際の設定は異なることがあります。

V12A1